

産業情報いわて

VOL. 121

月刊 2012年8月号

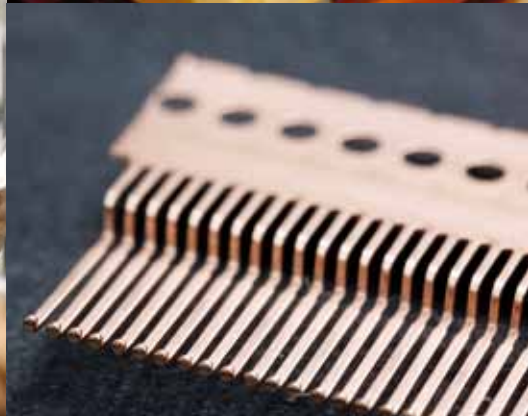
【支援企業紹介】



株式会社 ベスト

信頼と品質を (P2)

支えるのは積極的な投資と挑戦



第16回 機械要素技術展 (P4)
共同出展報告

青森・秋田・岩手3県合同商談会 (P4)
開催しました

ビデオ・図書ライブラリーのご案内 (P5)

賛助会員制度のご案内 (P5)

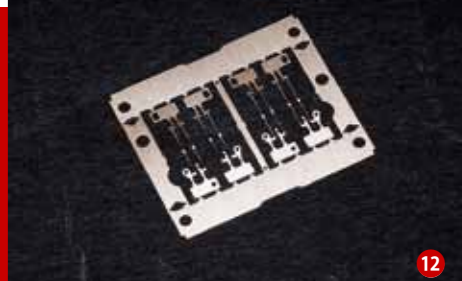
平成24年度半導体関連 (P6)
産業技術高度化支援事業について

平成24年度毎月勤労統計調査 (P6)
特別調査についてのご案内

ものづくり企業技能向上支援事業 (P7)

BCPソリューションセミナーを開催しました (P7)

いわて特産品コンクール
岩手県ふるさと食品コンクール (P8)



信頼と品質を支えるのは積極的な投資と挑戦

デジタル機器や自動車はじめ、あらゆる工業製品に搭載されている電子部品。製品の多機能化や小型化などにもない高精度・高機能化が求められ、部品加工業界では競争が激しさを増している。オンリーワンの技術、製品を作るために必要なことは何か―。株式会社ベストでは、設備投資と新技術への挑戦で実績を伸ばしている。

新しい製品を世に送り出したい 10人の技術者と立ち上げた会社

エレクトロニクス技術は日進月歩で進化している。携帯電話やパソコンなどの情報機器はじめ、自動車部品や腕時計分野などでも機能の複合化が進み、それにもなって搭載される部品も高精度・高機能化、より小型でより複雑な形状への対応が求められる。そんな精密部品プレス加工の分野で市場から信頼を得ているのが、北上市に本社工場を置く株式会社ベストである。

同社の創業は平成10年と比較的新しいが、社長の藤原澄夫さんは技術畑の出身。海外にもその名を知られた大手精密部品メーカーで27年、統括業務のプロフェッショ

ナルとして手腕をふるってきた。だが受注単価の下落などから会社の業績は伸び悩み、また新規事業に取り組む体制もなかったことから起業を決意、10人の技術者を引き連れてベストを立ち上げた。

「大量生産はもう日本では考えられない。同じことをしては、進出してくる中国勢に太刀打ちできない」。迫りつつあった脅威も見ていた藤原社長だけに、独立後間もなく大手メーカー数社から声がかかる。依頼されたのは、当時主流だったミニディスク(MD)や腕時計の部品、携帯電話のモーター部品。プレス加工が難しく、より精密な金型が求められることから取り組む企業の少ない分野である。同社はここに注力し、技術に磨きをかけていった。

金型からプレスまで一貫体制。世界の工作機械が品質を支える

金型プレスによる部品加工は、金型設計にはじまり機械加工で金型を製作し、金型組み立て、プレス加工という工程を経て完成する。受注法は様々だが、同社では3D/CADを使った金型設計から製造、プレス加工と3次元測定器による検査までの一貫生産体制を整えている。生産品目は電子音響機器に光学機器、腕時計用部品や電子通信機器、車載部品、各種デバイス等多岐にわたり、今後も業務内容の多様化は確実だ。

オリジナルの製品も多い。7年前には冷間鍛造プレス加工の高細密六角ナットの開発に世界で初めて成功、デジタル機器の小型化・軽量化に貢献した。「プレスへの転換はコストダウンに繋がるため特に車業界では大きい」。藤原社長のこの言葉通り、技術は今、車載部品の製造に応用されている。

①電機メーカーから転職した技術部品質保証・設計リーダーの伊藤尚志さん。「ベストで、金型の組立をいちから学びました」。
②金型を製作する機械加工のフロア。自動工作機械のプログラムも、手動工作機械の調整もベテラン技術者陣が担当。
③金型を作る上で最も重要な仕上げ用工作機械が、このNCジググラインダー。
④⑤モニターチェック、完成品チェック。要所要所に技術者の目が光っている。厳正な検査体制をひく品質保証部門。
⑥⑦⑧⑨同社の従業員は約40人。少数精鋭で高品質な製品を送り出している。
⑩⑪⑫上から、世界初の高精度六角ナット、車載部品、光ピックアップ部品。

「新しいことに挑戦し、いい製品を作る」。信念を実現するため、藤原社長が積極的に取り組んできたのが設備導入だ。使用する工作機械はスイスのアジェ社やアメリカのムーア社など、金型機械の世界トップメーカーばかり。価格も日本製の2、3倍はするが、高い精度でのモノづくりができる。「安い機械でも部品は作れるが品質にバラツキが出てしまう。どんな工作機械を使っているかで、金型を作る会社としての『姿勢』も感じてもらっている」と藤原社長。導入には当センターの設備貸与制度を、創業から16回以上利用している。

大企業の業績が伸び悩むなか世界的な精密部品ニーズは増加しており、日本では震災や原発問題を契機に蓄電池などに使われる電気部品の開発が本格化している。「培ってきた技術を生かしながら電気関係などの分野へ進出していく」と、藤原社長は展望を述べる。挑戦は続いていくのだ。

我が社の力こぶはコレ!
工程ノウハウと技術者が発展を支えています
創業以来培ってきた製造工程のノウハウに、金型加工の精度とプレスの精度が当社製品の品質を支える3本柱。高い技術を持った人材がいることも大きな強みです。顧客には一部上場の大企業も多いため、社員教育にも取り組んでいます。



代表取締役 藤原澄夫

会社名 株式会社ベスト
所在地 北上市藤沢3地割179-1
所在地 0197-68-4431
代表者 藤原澄夫
創業 平成10年
従業員 43名
業種 超精密金型、プレス加工

発信! いわての力こぶ

【支援企業紹介】北上市 株式会社ベスト



第16回 機械要素技術展 共同出展報告

平成24年6月20日(水)～22日(金)の3日間、東京ビッグサイトを会場に開催されました「第16回機械要素技術展」に、沿岸地域企業4社(株)エイワ、ECO-A(株)、三共化成(株)、和田工業(株)、うち新規出展企業1社)と内陸地域企業10社(株)アイオー精密、(株)アロン社、(株)共立精工、(株)小林精機、品川光学(株)、(有)ジーエフトップ、(有)青匠回路設計、(株)千田精密工業、盛岡セイコー工業(株)、和同産業(株)、うち新規出展企業3社)が岩手ブースとして共同出展いたしました。

復興元年として、元気な岩手をアピールするため、「がんばるぞ!ものづくり岩手」を合い言葉に全員が一丸



となって出展してまいりました。

機械要素技術展全体の、3日間の来場者数は75,015人を数え、昨年を上回りました。展示会終了後の成約を期待しております。

青森・秋田・岩手 3 県合同商談会 開催しました

さる7月10日、北東北3県の(公財)21あおり産業総合支援センター及び(公財)あきた企業活性化センターとの共催で標記商談会を、東京流通センター第2展示場(東京都大田区平和島)にて開催いたしました。

関東地区の発注企業の皆様と、青森・秋田・岩手県内のそれぞれに特色を持った受注企業の方々一堂に会し、個別商談や情報交換等をしていただくため、昨年に引き続き開催したものです。

当日は、関東地区を中心とした発注企業(メーカー、商社)が58社、青森・秋田・岩手の各県財団に登録している受注企業が153社(うち岩手県は59社)参加しました。

会場では、発注企業と受注企業の間で活発な商談が行われていました。今後、継続的な取引につながるこ



合同商談会のようす

とが期待されます。

参加した企業にアンケートを実施し、「短時間で情報収集できた」(発注企業)、「具体的な話ができた」(岩手・受注企業)といった声をいただきました。このほかいただいた意見は、今後の参考とさせていただきます。

お問合せ | ものづくり振興グループ 取引支援チーム TEL:019-631-3822 FAX:019-631-3830

被災地企業コラボレーション商談会(宮城)のご案内

主催/東京都、(公財)東京都中小企業振興公社

東日本大震災で被害が甚大であった宮城県・岩手県・福島県内の中小企業を参加対象として商談会を開催いたします。

日時 平成24年9月5日(水) 13:00～19:00

会場 江開グランドホテル(仙台市青葉区本町2-3-1)

参加費 無料

申込締切 8月16日(木)17:00厳守

詳細につきましては、下記のURLからご確認ください。

<http://www.tokyo-kosha.or.jp/topics/1207/0006.html>

※締切り後のお申し込みには都度対応致しますが、申込状況によりお断りさせて頂く場合もありますので早めにご相談ください。

ビデオ・図書ライブラリーのご案内

いわて産業振興センターでは、経営等に役立つビデオ・書籍のライブラリーを設けております。ビデオ(一部DVD)は約1700本、書籍は約500冊ほど取りそろえております。

センターに直接おいでいただければ、手にとってお選びいただけますし、遠方の方でも、岩手県内の方であれば宅配便にて送付しております(送料・返送料ともにご負担いただけます)。

どうぞお気軽にご利用下さい。

ライ
ン
ナ
ッ
プ

《ビデオ》生産管理、品質管理、新入社員・中堅社員教育、セールス・営業、商店街・個店運営事例

《書籍》経営全般、販売、社内教育、創業・ベンチャー、技術 ※ビデオテープが主となっておりますが、「機械加工シリーズ」など一部DVDソフトもございます。

貸し出し条件

- 貸し出し期限は、到着後1週間以内
 - 貸し出し本数は、ビデオ・DVD10巻、図書10冊まで(ビデオ・DVD・図書は一緒に貸出できます)
 - 料金は無料、送料は借り主負担
- ※当センターから宅配便で送る際は、着払いとし、借り主に送料を負担いただけます。また、返却は、元払いとし、こちらも借り主に送料を負担いただけます。(◆賛助会員については、送料のみセンターで負担します(返却は元払い)。)
- ※貸出は岩手県内の中小企業(または賛助会員)に限ります。
- ※ご希望されるビデオ・DVD・図書が貸出中の場合もございますのであらかじめご了承ください。
- ※破損・紛失の場合は弁償していただきます。

ビデオ・図書の一覧はセンターのホームページでご確認いただけます

<http://www.joho-iwate.or.jp/libr/>

直接おいでいただく場合

利用時間:平日午前9時～午後5時(土日祝日、年末年始は利用できません)
※センター内では、ビデオ・図書の閲覧はできません。

お問い合わせ | 産業支援グループ ☎TEL019-631-3823 FAX019-631-3830



機械加工シリーズはDVDもございます



賛助会員制度のご案内

センターでは、活動にご賛同いただける「賛助会員」を募集しています。さまざまな特典を用意しておりますので、入会をご検討ください。

年会費
2万円

おもな特典

- 「いわてものづくりアカデミー」受講料2割引
(※アカデミーについてはWEBサイトをご覧ください)
- 企業信用情報の代行検索・料金割引
(※年間3件まで無料、4～15件は一定額を割引)
- ビデオライブラリーの送料負担
(※センターからの送料を負担します。返送料はご負担いただけます)



お問い合わせ | 産業支援グループ ☎TEL019-631-3823 FAX019-631-3830
<http://www.joho-iwate.or.jp/sanjo>

平成24年度半導体関連産業技術高度化支援事業について

岩手県では、半導体関連産業を自動車関連産業と並ぶ戦略産業分野と位置付け、岩手を半導体関連産業の集積を通じた「ものづくり産業」の一大集積地とするための取組みを行っています。今年度においては、ものづくり体制の復興を全国に積極的にアピールしていくとともに、中長期を見据えた県内川上・川下企業の強固なパートナーシップの強化、地場企業の技術力高度化や次代を担う技術者育成を図る施策を講じることとしております。

具体的取組

連携交流

- 半導体協議会総会・講演会の開催
業界動向把握と新産業参入を目指す講演会の開催(年1回)
- TOUHOKU半導体フォーラムの開催
半導体関連産業に係る東北6県の川上企業と川下企業が情報交換を行う企業交流会の開催(他県開催)
- 県内関連企業に係る情報発信
半導体及び製造装置の製造プロセス毎に整理した関連企業マップの作成

取引拡大

- 専門展示会等への出展(復興アピールを含む)
「セミコンジャパン(半導体)」「PV EXPO(太陽光・2次電池)」等への出展
- 川下企業を対象とした企業内覧会の開催
川下企業に対し高度な県内企業が取引拡大を図る内覧会を開催(年2回)

当センターにおける事業内容

県の上記施策の一環として、企業出身のコーディネータを委嘱。各企業の戦略・成長レベルに応じ、展示会出展等の広く取引拡大を図る取組みに加え、自社の強み技術やアイデアを直接的にアピールできる機会等の拡充を図ることで更なる技術力向上と取引拡大につなげていく活動を行います。

技術高度化

- 参入研究会活動への支援
●メンテナンス参入研究会
川上企業が連携し、製造装置メンテナンス分野への参入を目指す研究会活動
- 新エネルギーに関する産業への参入研究会
産学官が連携し、新エネルギー関連産業への地場企業の参入を目指す研究会活動
- 各種勉強会の開催
- 半導体基礎講座
新たな参入、取引拡大を目指す企業技術者を対象とした基礎講座の開催(年5回)
- 財団法人いわて産業振興センターによる技術的支援
企業出身のコーディネータによる技術的アドバイス支援

平成24年度コーディネータ

たくち つよし
田口 毅

(株)多加良製作所岩手工場工場長代理、テクノクリート(多加良製作所装置部門子会社)の創設役員等を歴任。県内外の半導体関連業者との交流経験や、業界に関する知識等も豊富で、半導体関連産業に精通している。



ものづくり企業技能向上支援事業

ものづくりの高度化にチャレンジする企業の皆様へ最大100万円補助!

同じ機械・治具・工具を使っても技能者により品質や生産性に差があります。技能者に聞くと「勘」「コツ」「経験」「センス」の違いと答えます。このような技能者が捉える視覚、音、振動といった五感をセンサー技術で可視化し、位置決め装置や警報装置など技能をサポートするメカトロ機器の開発に助成を行います。

1. 助成対象企業

次を全て満たす企業

- (1)中小企業であること(資本金3億円以下または常時雇用する従業員数300人以下)
- (2)岩手県内に製造拠点を有すること
- (3)東日本大震災により直接または間接の被害を受けたこと
- (4)次の標準産業分類の中分類に属すること
繊維工業、プラスチック製品製造業、ゴム製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、はん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業

2. 助成対象経費

ものづくり企業の作業者の技能(ここでは、勘、コツ、経験、センスなど属人的な能力を指す。)をセンサー等を使用して計測、数値化し、作業をサポートする装置の開発及び制作に関する経費を対象とします。社外に委託する場合は委託費、社内で制作する場合は部品費及び外注加工費とします。

3. 助成金額

助成対象経費の半分。ただし、1件当たり1,000千円を限度とします。

4. 条件

社外委託する場合、当センターが委託先を公募して最適な提案を採択し、そこに委託していただきます。

5. 助成対象企業の当センターへの協力

- (1)当センターが実施する助成対象設備の見学会に協力すること。
- (2)当センターが実施するセミナーで助成対象設備を紹介すること。
- (3)広報誌「産業情報いわて」掲載に同意すること。

6. 申込方法

申込用紙(当センターWEBサイトに掲載)に記入してファックスまたは郵送でお送り下さい。

7. 締切日

平成24年8月31日

8. 審査

内容を審査のうえ決定します。必要に応じて職員がヒアリングに伺います。
補助予定 5件程度

申込・問合せ先 (財)いわて産業振興センター 総務・金融グループ 担当/中村
〒020-0852 盛岡市飯岡新田3-35-2 TEL:019-631-3820 FAX:019-631-3830
URL <http://www.joho-iwate.or.jp/info/ginou.html>

厚生労働省/岩手県からのお知らせ

平成24年度毎月勤労統計調査特別調査についてお願い

厚生労働省では、本年7月31日現在で、常用労働者を1人から4人雇用している事業所を対象に、毎月勤労統計調査特別調査を実施します。

この調査は、1~4人の常用労働者を雇用する小規模事業所における賃金、労働時間および雇用の実態について全国および都道府県別に明らかにすることを目的に実施しており、結果は小規模事業所の実態を示す資料として最低賃金の改定審議等に使用されています。

調査対象となる事業所には、8月から9月にかけて、統計調査員が訪問し、調査票の内容をお聞きして調査票を作成いたします。

調査票に書かれた事柄は、「統計法」により、厳しく秘密が守られます。また、統計以外の目的に用いられることは禁じられています。

ご多忙のこととは存じますが、調査の重要性をご理解いただきまして、ご回答いただきますようお願いいたします。

調査対象地域 盛岡市、宮古市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、滝沢村、紫波町、矢巾町、西和賀町、一戸町

★毎月勤労統計調査 特別調査とは？

常用労働者5人以上の事業所を対象に毎月行っている毎月勤労統計調査(給与や労働時間、雇用の変動を毎月明らかにする調査)を補うために常用労働者1~4人の事業所を対象に年1回行う調査です。
対象の範囲は、農業、林業、漁業、家事サービス業、外国公務および一般公務を除く事業所です。

調査の結果は、小規模事業所の実態を示すものとして、最低賃金の決定に係る審議会資料に使用される等、行政施策の企画・立案に役立てられています。
なお、この調査は国の重要な統計を作成するための調査として、統計法に基づく「基幹統計調査」とされています。

BCPソリューションセミナーを開催しました

7月6日、岩手県先端科学技術研究センター2階会議室にて、「BCPソリューションセミナー」を、ソフトバンクテレコム(株)東日本・東海営業本部主催(当センター共催)により開催しました。当日は県内企業等から12名の参加がありました。

このセミナーでは、昨年発生した東日本大震災を契機に、関心が高まっているBCP(Business Continuity Plan :災害発生時の事業リスクを最小限に抑え、早期の事業復旧に向けた事業継続のための行動計画)の重要性について解説するとともに、災害時の事業継続に必要な通信(インターネットや電話、ファクシミリ)に関する対策方法について、ソフトバンクが提供するソリュー

ションの紹介を含め、詳細に説明がありました。

セミナー後半では、上記ソリューションを始めとしたビジネスに役立つアプリケーションを搭載したスマートタブレットの活用事例を紹介するとともに、参加者が実際にスマートタブレットを操作しながらの体験学習も行われ、参加者の関心を呼んでいました。

BCP対策についてご興味のある方は、下記中小企業庁のホームページ「中小企業BCP策定運用指針」をご覧ください。BCP策定ガイドや様式類、サンプル等が公開されています。

<http://www.chusho.meti.go.jp/bcp/>

いわて特産品コンクール 岩手県ふるさと 食品コンクール

出品者募集中
申込締切
8/27月

販路開拓に意欲的に取組む県内事業者による新商品等の開発意欲及び
県産農林水産物等を原料とする食品の開発を促進するとともに、
これら商品等の普及を図ることを目的に食品並びに工芸品・生活用品のコンクールを開催します



平成23年度 食品部門
がんばろう岩手特別賞
赤武酒造(株) Liqueur Sweets いわて山ぶどう

平成23年度 工芸品・生活用品部門
岩手県産業貿易振興協会会長賞
木工房さとう けんじのピトくん やじろべ〜

入賞者特典
**新聞媒体による
受賞PR広告**

出品者特典
PRパンフレット作成・配布
岩手県アンテナショップ(東京銀座・大阪・福岡)、物産展、商談会など
—— パンフ・新聞いずれも出品者作成費用負担なし ——
※いわて特産品コンクール出品者・入賞者のみ対象です



平成23年度
岩手県
知事賞
工芸品・生活用品部門
工房 夢繭・花
繭と漆のジュエリー・ブローチ



食品部門
(株)中原商店びんびん舎
生マッコリ「Senbei」

●開催日時等

コンクール名称	審査会日時	表彰式日時	審査会・表彰式会場
いわて特産品 コンクール	食品部門	9月25日(火) 9:00	岩手県 工業技術センター (盛岡市飯岡新田)
	工芸品・生活用品部門	9月26日(水) 9:00	
岩手県ふるさと食品コンクール	9月25日(火) 9:00	9月26日(水) 午後	

●申し込み方法

参加申込書に記入のうえ、FAX又は郵送願います。
参加申込書は財いわて産業振興センターホームページからダウンロードできます。
http://www.joho-iwate.or.jp/fund/tokusanhin_d.pdf

申込み先

いわての物産展等実行委員会(財団法人いわて産業振興センター)
〒020-0852 盛岡市飯岡新田3-35-2 TEL:019-631-3824 FAX:019-631-3830

主催/いわての物産展等実行委員会・岩手県 後援/岩手県市長会・農林水産省東北農政局・いわて農林水産振興協議会